

平成23年度 第1回
外国籍県民県政モニターアンケート
— 外国人の防災対策について —
報 告 書



埼玉県のマスコット
コバトン

平成23年9月



彩の国
埼 玉 県

目 次

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果の見方	5
IV 調査結果	6
V 調査票	24

I 調査の概要

1. 調査の目的

県が在住外国人支援をはじめとする多文化共生推進施策をすすめていく上での参考とするため、アンケート調査により外国籍県民の意見・要望を把握することを目的とする。

2. 調査期間（集計含む）

平成23年7月29日（金）～8月19日（金）

3. 調査対象

外国籍県民県政モニター 109名

4. 調査方法

インターネット調査・FAX・郵送による調査

4. 回答者数

86名（回答率：78.2%）

※ 有効回答者数は、質問ごとに異なる。

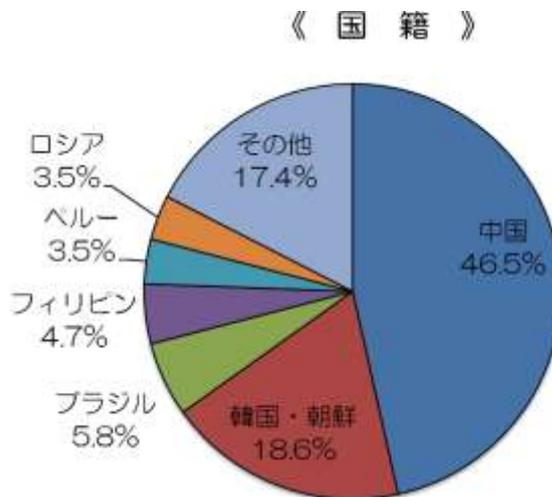


埼玉県のマスコット
コバトン

Ⅱ 回答者の属性

《 国 籍 》

国籍	人数	割合
中国	40	46.5%
韓国・朝鮮	16	18.6%
ブラジル	5	5.8%
フィリピン	4	4.7%
ペルー	3	3.5%
ロシア	3	3.5%
その他	15	17.4%
合計(全18カ国)	86	100.0%



【その他内訳】

各2名：アメリカ、スペイン、バングラデシュ

各1名：アルゼンチン、イギリス、イラン、エクアドル、コロンビア、タイ、ベトナム、マレーシア、モンゴル

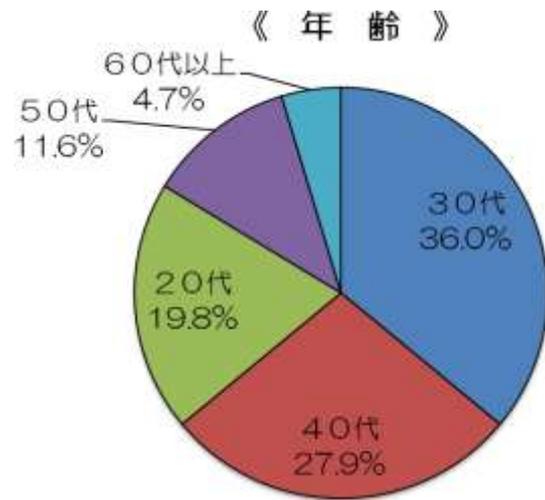
《 居住地域 》 ※埼玉県5か年計画の地域区分による

地域	人数	割合
さいたま	15	17.4%
東部	14	16.3%
川越比企	11	12.8%
南西部	11	12.8%
利根	10	11.6%
南部	9	10.5%
西部	7	8.1%
北部	6	7.0%
県央	3	3.5%
秩父	0	0.0%
合計	86	100.0%



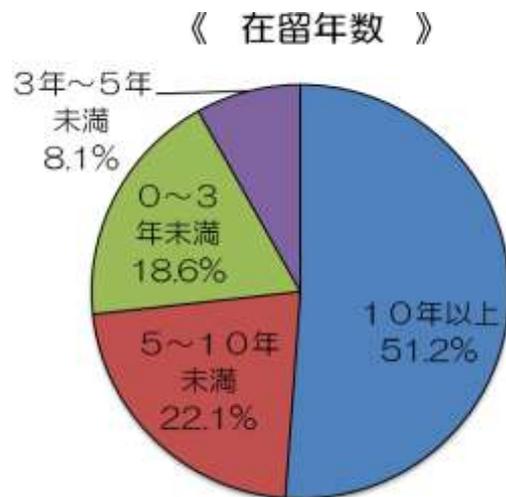
《 年 齢 》

年代	人数	割合
30代	31	36.0%
40代	24	27.9%
20代	17	19.8%
50代	10	11.6%
60代以上	4	4.7%
合計	86	100.0%



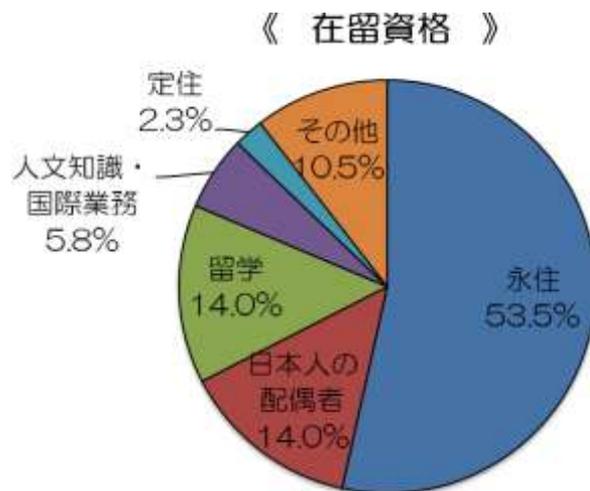
《 在留年数 》

在留年数	人数	割合
10年以上	44	51.2%
5～10年未満	19	22.1%
0～3年未満	16	18.6%
3年～5年未満	7	8.1%
合計	86	100.0%



《 在留資格 》

在留資格	人数	割合
永住	46	53.5%
日本人の配偶者	12	14.0%
留学	12	14.0%
人文知識・国際業務	5	5.8%
定住	2	2.3%
その他	9	10.5%
合計	86	100.0%



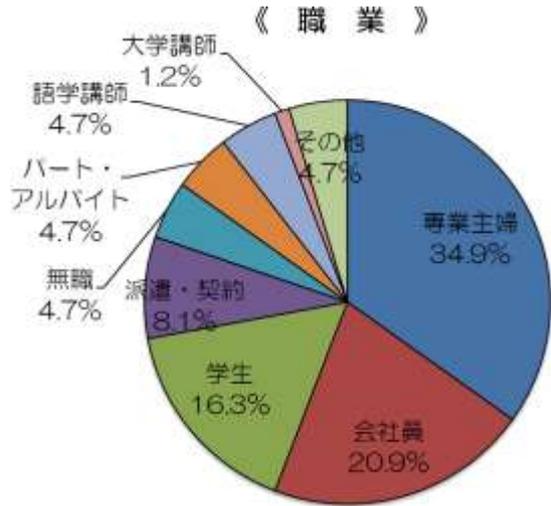
【その他内訳】

各3名：特別永住、家族滞在

各1名：教授、技術、研究

《 職 業 》

職業	人数	割合
専業主婦	30	34.9%
会社員	18	20.9%
学生	14	16.3%
派遣・契約	7	8.1%
無職	4	4.7%
パート・アルバイト	4	4.7%
語学講師	4	4.7%
大学講師	1	1.2%
その他	4	4.7%
合計	86	100.0%



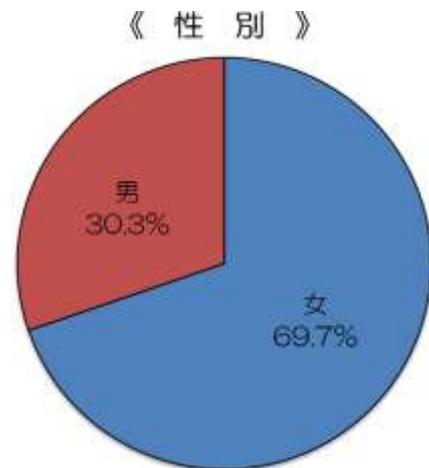
【その他内訳】

2名 : 研究者

各1名 : ジャーナリスト、公務員

《 性 別 》

性別	人数	割合
女	63	73.3%
男	23	26.7%
合計	86	100.0%



Ⅲ 調査結果の見方

- グラフ数値は、有効回答者数を基数として算出した回答比率である。
- 選択肢の（ ）内の数字は、回答数である。
- 回答比率は、小数点第2位を四捨五入したものであり、個々の比率の合計は100%にならないことがある。
- 複数回答可能な設問については、回答数の合計が有効回答者数を超え、回答比率の合計が100%を超えることがある。
- 質問・回答肢は、やさしい日本語となっている。
- その他意見（選択肢：「ほかのこと」）・自由記述については、主なものを抜粋し、表記等をあらためた部分がある。

IV 調査結果

➤ 質問 1： 2011年3月11日の東日本大震災で何が困りましたか？

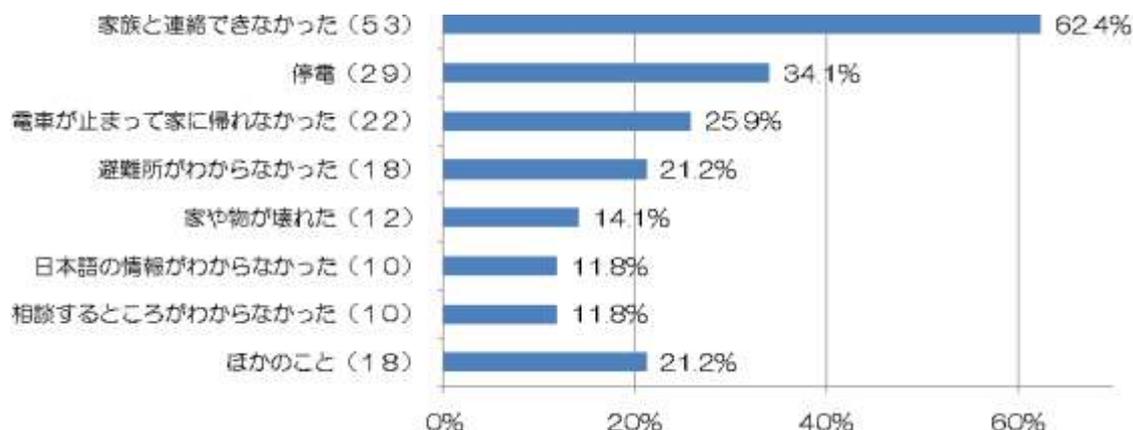
【概要】

2011年3月11日の東日本大震災で困ったことをたずねた。

「家族と連絡できなかった」(62.4%)が最も多く、6割を超えた。次いで、「停電」(34.1%)、「電車がとまって家に帰れなかった」(25.9%)となった。

質問1 2011年3月11日の東日本大震災で何が困りましたか？

(選択できる数 : いくつでも ・ 有効回答者数 : 85名)



【「ほかのこと」(その他)の内容】

- そのときはまだ出身国にいましたが、一番困ったことは余震と原発のニュースでした。家族や友達は私のことを心配していましたので、「本当に行くんですか」と聞きました。
- 食べ物・日用品・水が売っていない。ガソリンがない。放射能の心配。子供の登下校、学校の給食が出ない。
- 自分ではないが、家族(主人)が家に帰って来られなくて困りました。あと、本国の家族と電話が繋がらなくて、みんなニュースを見て心配していたので大変でした。幸い、インターネットでの連絡はできてよかったです。
- 就職活動
- 職場から学校に迎えに行きましたが、先に子どもだけが家に帰って大騒ぎでした。

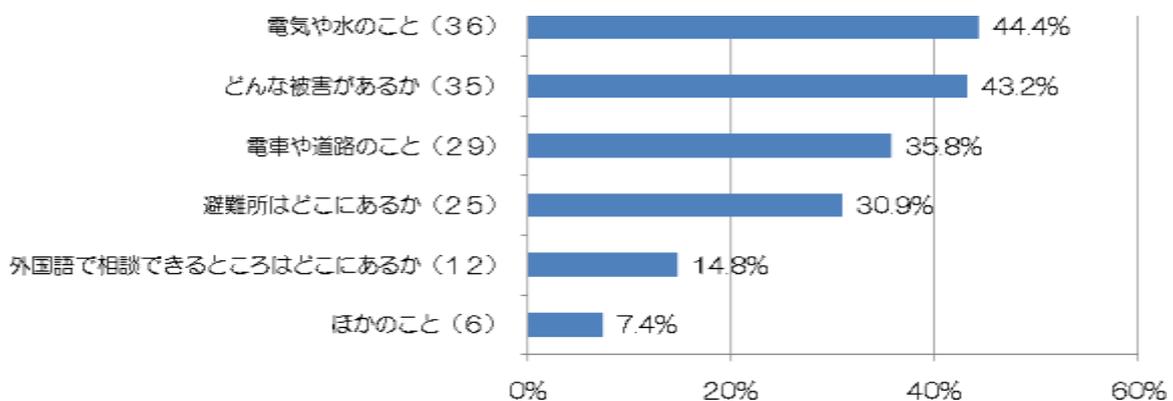
➤ 質問 2： 災害のとき何が知りたいですか？

【概要】

「電気や水のこと」(44.4%)が最も多く、次いで、「どんな被害があるか」(43.2%)、「電車や道路のこと」(35.8%)であった。今回の震災で、計画停電や電車の運休があり、また、スーパー等から水や食料がなくなったりしたため、情報量の少ない外国籍県民は不安になったと思われる。

質問2 災害のとき何が知りたいですか？

(選択できる数 : 2以内 ・ 有効回答者数 : 81名)



【「ほかのこと」(その他)の内容】

- 台風や大雨の時、市役所で土嚢などの防災用具を借りる事はできますか。他に、役所はどんな事を助けてくれますか。
- 家族や周りの人を助ける方法
- 妊娠中でしたので、食生活にかかわる情報やサービスを知りたかったです。
- 家族の安否

➤ 質問 3： 東日本大震災の情報は何で知りましたか？

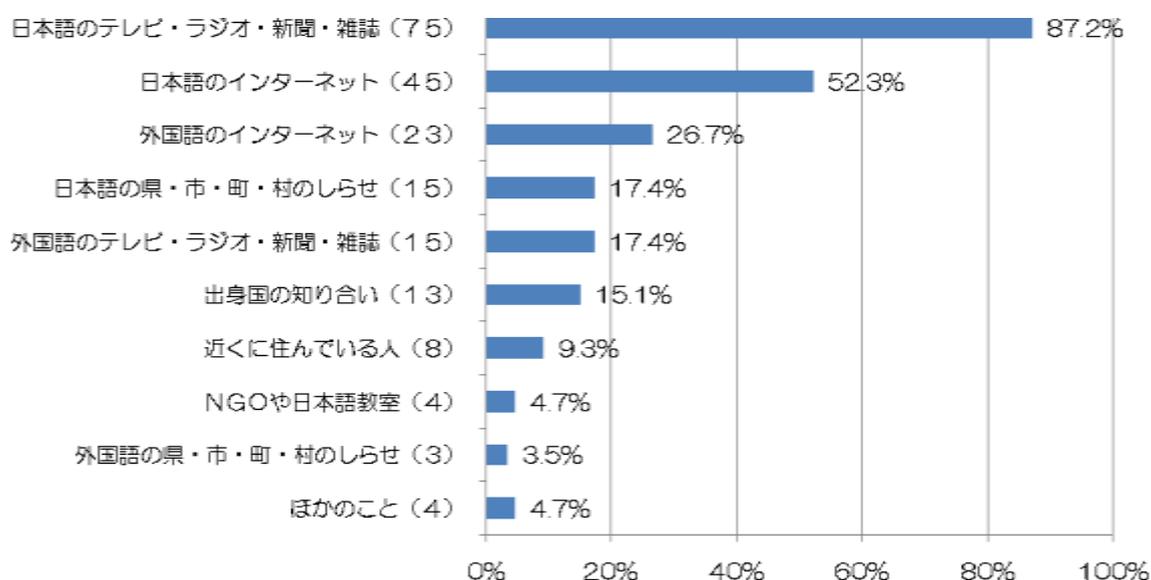
【概要】

東日本大震災の情報を何で知ったかたずねた。

「日本語のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌」(87.2%)、「日本語のインターネット」(52.3%)といった日本語のメディアが上位を占めた。

質問3 東日本大震災の情報は何で知りましたか？

(選択できる数 : いくつでも ・ 有効回答者数 : 86名)



【「ほかのこと」(その他)の内容】

- インターネットの出身国ネットワークでのみなさんの書き込みや情報交換もとても役に立ちました。

➤ 質問4： 災害の情報を得るために何がよいですか？

【概要】

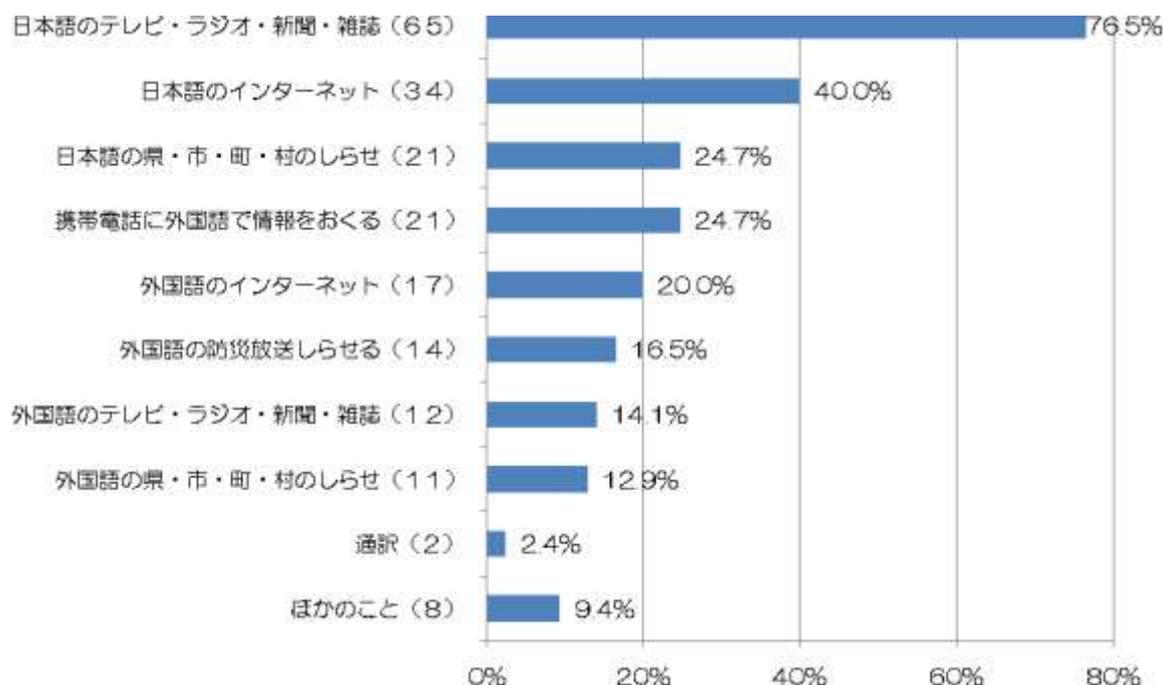
災害の情報を何で知りたいかたずねた。

「日本語のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌」（76.5%）、「日本語のインターネット」（40.0%）といった日本語のメディアが上位を占めた。

外国語の情報入手の方法としては、「携帯電話に外国語で情報を送る」（24.7%）が一番多かった。

質問4 災害の情報を得るために何がよいですか？

（ 選択できる数： 3以内 ・ 有効回答者数： 85名 ）



【「ほかのこと」（その他）の内容】

- 外国語＝英語だけではなく、できる限り多くの言葉で情報を提供することです。
- 防災放送の感度を上げ、聞きやすく。各外国人の団体を通じて至急報が出来れば。
- 他県に住んでいる友人は地震が来ると注意を呼び掛けるアラームが町中に鳴ったと言っていました。埼玉県内にはないのでしょいか。子供が寝ていたりお風呂に入っていたりするとテレビも見られないし、気づいていないとき情報が入らず、被災するのでは…と不安を感じ始めました。

- テレビ・ラジオでやさしい日本語を使って情報を出してほしい。
- 携帯を契約するとき、外国人であることが明らかになっていると思われる。少なくとも外国人の携帯に英語で情報を送ってほしいです。
- 携帯電話に日本語で情報を送ってくれると助かります。中国語の場合、全部の漢字が表示できないので、日本語での送信が良いと思います。

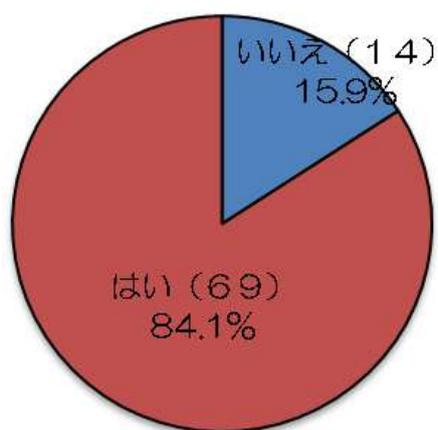
➤ 質問5： 災害の情報をあつめて外国語で伝えるセンターがほしいですか？

【概要】

東日本大震災の被災地で、災害発生時に外国人のために多言語で情報発信等の支援を行うセンターを設置した自治体があった。埼玉県にもこのようなセンターの設置を望む人が84.1%で8割を超えた。

質問5 災害の情報をあつめて外国語で伝えるセンターがほしいですか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 83名)



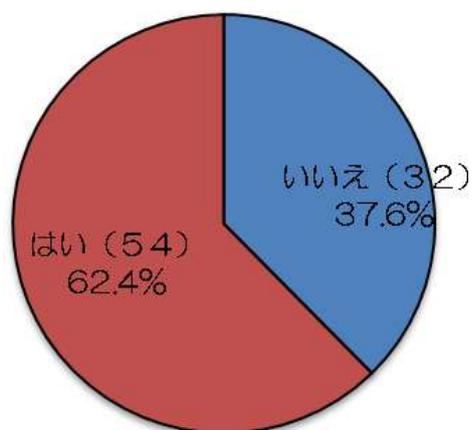
➤ 質問6： 東日本大震災のあと、災害の準備をしていますか？

【概要】

東日本大震災のあと災害の準備をしている人が、6割を超えている。

質問6 東日本大震災のあと、災害の準備をしていますか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 86名)



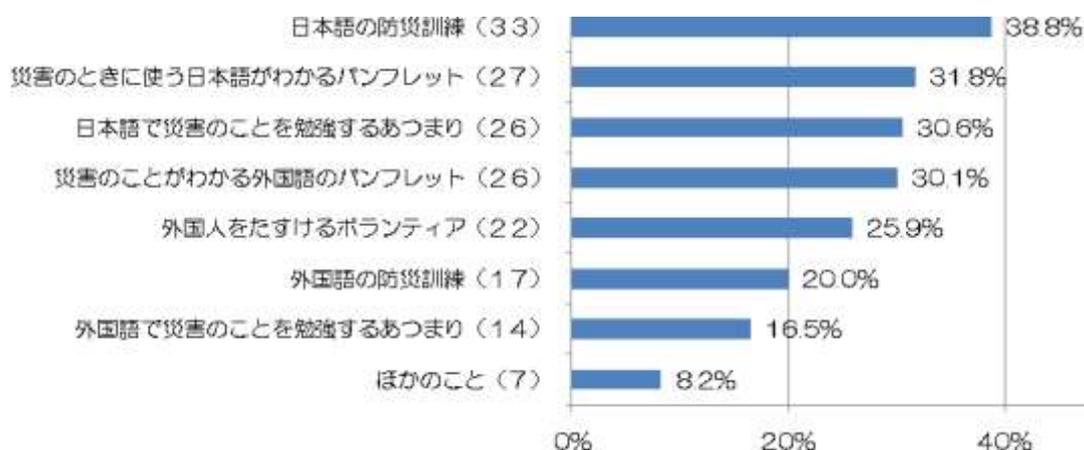
➤ 質問7： 災害の準備のために何がほしいですか？

【概要】

「日本語の防災訓練」(38.8%)が最も多く、次いで、「災害のときに使う日本語がわかるパンフレット」(31.8%)、「日本語で災害のことを勉強するあつまり」(30.6%)であった。今回の震災を経験して、実地訓練の要望が多いと考えられる。

質問7 災害の準備のために何がほしいですか？

(選択できる数 : 3以内 ・ 有効回答者数 : 83名)



【「ほかのこと」(その他)の内容】

- 住んでいるマンションで配られていた地震・災害パンフレット(日本語も外国語も書いてありました。)が役に立ちました。外国語だけで分かっているけど、回りの日本人とコミュニケーションが取れないと意味がないので、両方書いてある資料がいいと思います。
- 日本人と違って地震や台風の時に避難する訓練はやったことがほとんどなくて、どういう風に行動すべきかまったく分かりません。ちゃんとした資料がほしいと思います。
- 非常持出袋の準備

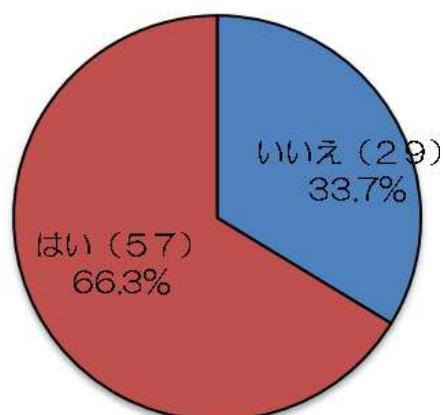
➤ 質問8：災害のときの避難所を知っていますか？

【概要】

災害時の避難所を知っている人は66.3%、知らない人が33.7%であった。
約3分の1の人は避難所を知らなかった。

質問8 災害のときの避難所を知っていますか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 86名)



➤ 質問9：質問8で「はい」の人は、何で知りましたか？

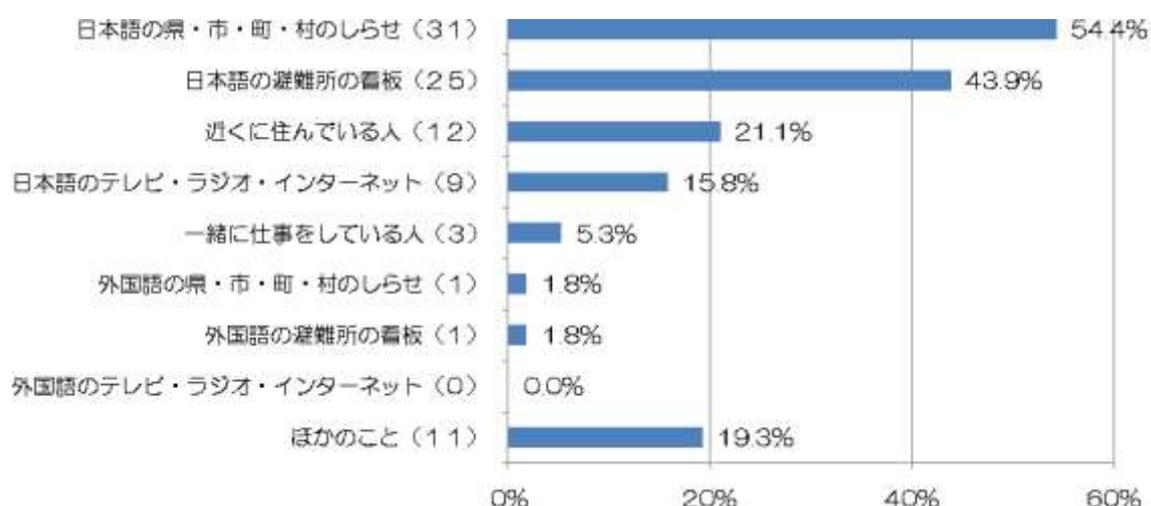
【概要】

災害時の避難所を知っている人に、何で知ったか？

「日本語の県・市・町・村のしらせ」（54.4%）、「日本語の避難所の看板」（43.9%）が上位を占めた。

質問9 質問8で「はい」の人は、何で知りましたか？

（ 選択できる数：いくつでも ・ 有効回答者数：57名 ）



【「ほかのこと」（その他）の内容】

- 保育園、学校での避難訓練など。
- 子供が通っている学校からの配布物で知りました。
- 家族
- 大学の先生から
- 社宅に住んでいるので、たまたま震災のとき他の奥さんといっしょに行動していて、主人が帰ってくるまでなんとか自分を落ち着かせることができたのですが、近所のほかの人とは全く交流がなかったので、これから何かが起きたら困るかも、と初めて思いました。やはり町単位の訓練などを市や区でやってくれると自然とお互いに顔を覚えられるし、声もかけやすくなるのではないかと思います。

➤ 質問10：防災訓練をしたことがありますか？

【概要】

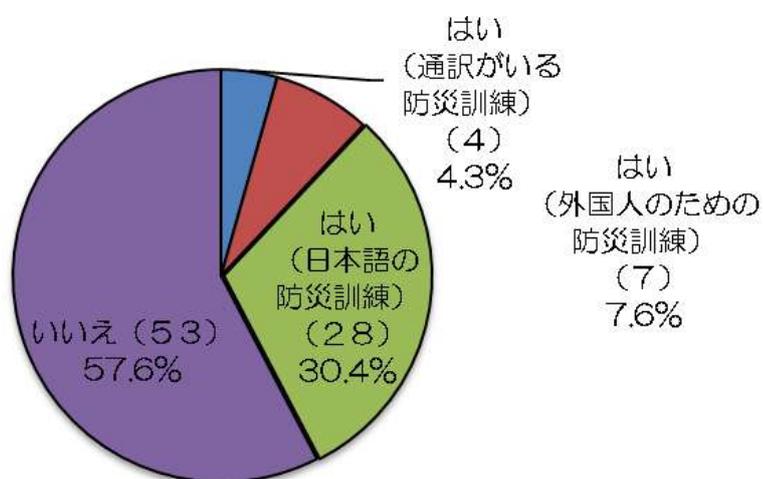
防災訓練をしたことがあるかどうかをたずねた。

防災訓練をしたことがない人が57.6%と半数を超えている。

一方、なんらかの防災訓練（日本語の防災訓練・外国人のための防災訓練・通訳がある防災訓練）をしたことがある人は、42.3%であった。

質問10 防災訓練をしたことがありますか？

（ 選択できる数 : いくつでも ・ 有効回答者数 : 86名 ）



➤ 質問11：これからどのような防災訓練をしたいと思いますか？

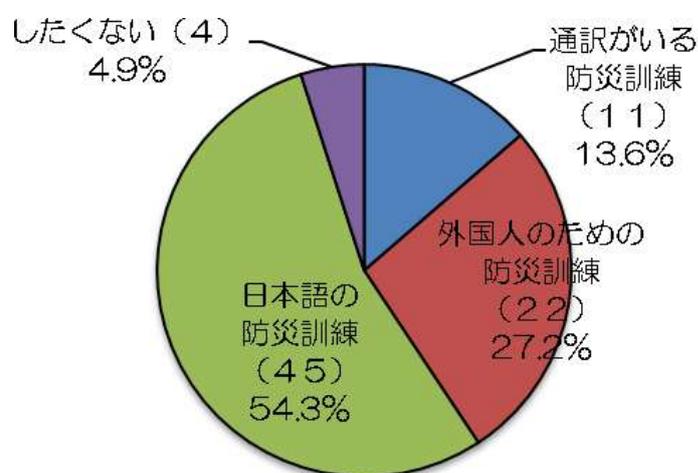
【概要】

「日本語の防災訓練」(54.3%)が最も多く、次いで、「外国人のための防災訓練」(27.2%)、「通訳がある防災訓練」(13.6%)であった。

外国人向けでなくとも通常の防災訓練に参加したいという人が半数を上回った。

質問11　これからどのような防災訓練をしたいと思いますか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 82名)



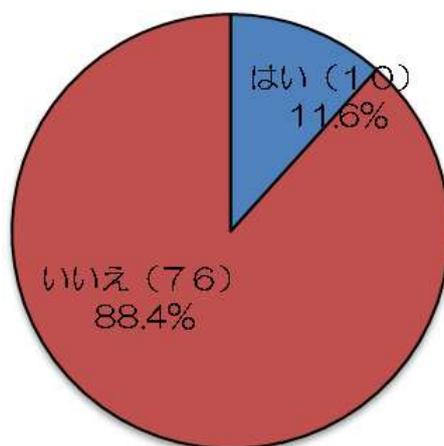
- 質問12：東日本大震災でボランティアをしましたか？
- 質問13：これから災害があるときボランティアをしたいですか？

【概要】

ボランティアをした人は約1割だったが、今後、ボランティアをしたい人は約9割で、ボランティアの参加意欲が大変高いことが伺える。

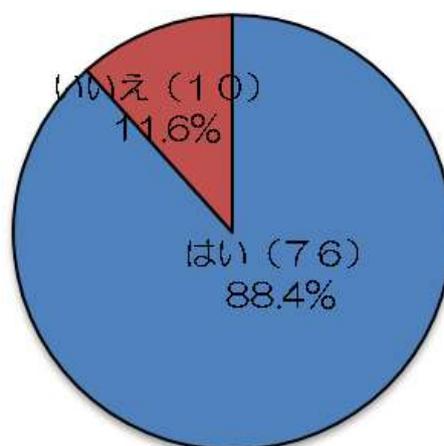
質問12 東日本大震災でボランティアをしましたか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 86名)



質問13 これから災害があるときボランティアをしたいですか？

(選択できる数 : 1 ・ 有効回答者数 : 86名)



➤ 質問14：ボランティアをするために何がほしいですか？

【概要】

ボランティアをするために何がほしいかをたずねた。

「外国人のボランティアを登録するところ」(49.4%)が約半数であった。

次いで、日本語・外国語のボランティア情報を求める人が多かった。

質問14 ボランティアをするために何がほしいですか？

(選択できる数 : 3以内 ・ 有効回答者数 : 85名)



【「ほかのこと」(その他)の内容】

- 日本語がまったく話せなくて困っている同じ国の人がいれば、通訳などのお手伝いがあったらいいなと思います。市役所にそういう活動をするところがあると思いますが、ボランティアの登録ができるのかなど詳しい情報があったらいいなと思います。
- いろんな国の言葉ができる人がたくさんいると思いますが、そういう人たちの登録ができていないと、助けが必要となきまず人を探すのに時間がかかってしまいます。そこで、ボランティアの集まりはとても大事だと思います。
- ボランティアグループの連絡先。いつ、どこで、だれと、どうやって手伝えるのか、直接聞けます。
- 収入の安定及び必要な知識、時間

➤ 質問15：災害のとき外国人として考えることや思うことを書いてください。

(自由記述 ・ 記述者数 : 71名)

◆ 安否確認

- 祖国の親戚や知人と速やかに連絡を取りたいと思います。
- 1) 自分の安否をいち早く母国に伝えたいです。そのため、母国の連絡先はあらかじめ役所に登録すべきかと思います。 2) インターネットや集いを通して、言葉が不自由な同じ出身国の人と情報をシェアする。 3) 県に在住の乳幼児、妊婦、老人が安心できるように状況説明を行う。
- 災害の時に外国人、それぞれの国の大使館につなぐ安否確認ダイヤルがあるといいと思います。母国にいる人のためだけではなく、日本にいる同じく外国人の友達や家族の情報を知るため。
- 災害の程度と家族全員の安否確認。生活用品を確保できるかどうか。これから安全かどうか？
- 日本にいる家族及び母国にいる家族にいち早く自分の安否を知らせること。それに、正しい情報を得ること。今回の災害は間違った情報も色々入ってきたので、情報の信憑性は欠けています。テレビやラジオなど発信源として、正確かつ迅速に情報を提供すべき。
- 日本人と変わらないと思いますが、まずは家族の安全を確認したい。3/11は停電となり、電車も止まり、しばらくの間は携帯電話も繋がらなかったのも、結果として4時間ほど家族の安否確認ができなかった。また、電車復旧の目処が発表されるまでの時間が長すぎると感じた。歩いて帰るべきか都内で一泊するべきかの判断が難しかった。言葉に関しては日本語が十分できるので、言葉で困ることはなかった。
- ①自分の無事を実家の両親に知らせること②日本国民と平等の避難待遇を得ること③できれば日本人のボランティアと一緒に救援救助活動に参加できること④中国語を活かして日本語が話せない中国人に適切な災害（避難）情報を伝えること

◆ 災害に対する備え

- 災害の時に、逃げる場所や、どのように行動したらよいかを教えるマニュアルがほしい。
- 市役所などから避難マップのようなものを配布してほしい。
- 日常生活の中でよく行く場所に、情報を分かりやすいところに設置してもいいかもしれない。スーパーや駅など。
- 避難所や情報が詳しく知りたいです。災害の時何をすれば、どこへ行けばいいかよく分からないです。
- 1. 何が起きているか、2. 何をすべきか、3. 避難所はどこか、4. 避難の時何を持っていくか、を知りたい。

- とっさの時、何が必要か思いつきませんでした。スーパーに行った時、お米やパンがスーパーの棚からなくなっていて、ビックリしました。なぜ、お米とパンが…という気持ちでした。私はろうそくを買いに行きましたが、一本も買えませんでした。非常時、ろうそくや電池以外にどんなものをどれくらい用意すればいいかわかりません。

◆ 地域社会とのかかわり

- 普段生活している家、職場、学校などの周辺を、事前にもっとよく調べれば良かったと思いました。地域の人とコミュニケーションをすることが大事だと思います。
- 外国人として日本での生活には、近所や自治会とのかかわりが欠かせないと思いました。
- 地域に馴染んでいない外国人には、災害の時、速やかに避難できるかどうか心配です。避難所での生活が外国人にとってかなり厳しいものだと思います。
- ボランティアをしたいと思ったけれどどこで情報が得られるかわかりませんでした。普段、近所との付き合いもなく、避難所などがどこで確認できるのか、住所や名前だけでは行きかたも分らないので、ちょっと心配でした。
- 家族がいなくなったらどうすればいいのか、誰に相談すればいいのか、誰に助けをもらえばいいのか。

◆ 外国語の情報伝達

- 防災の放送と同時に、外国人団体（大使館や親善協会等）を通じての連絡、情報の伝達があれば良い。
- 災害の時に、外国人としても現地日本人と一緒に防災か救済の動きができるような外国語の呼びかけや、スピーカー放送などが必要になると思います。
- 災害の時、停電になるかもしれませんが、市の外国語の防災放送の外のスピーカーでしらせて頂けると助かります。
- 外国人が少ない地域では、外国語情報は少ないと思います。私は多少日本語が通じるから不便と思わないけれど、日本語ができない人には大変でしょう。

◆ 情報公開

- どこでも皆は不安を感じたけれど、複雑な日本語がわからない住民にとっては、海外のメディアのみを聞いて、さらに不安になってしまうので、地域の災害情報が不可欠であると実感しました。そして、政府が発表している情報（放射線に関すること）が遅れたり、部分的のみだと、信頼が失われてしまうので、「安全」・「人を守る」ことを第一にすると、人々は海外のメディアだけではなく、日本の情報・日本語での情報を使い続けます。
- 今度の地震は地震と津波よりも原発の被害が多いと思います。私はドキドキしながらも日

本政府の発した情報を信じていました。でもアメリカが違う判断（81km 避難範囲のこと）を出した後、もう何を信じていいか分からなくなりました。その時本当の恐怖を感じました。ですから、政府にすべての情報公開をしてほしいです。今からでも遅くない。

- 原発事故にかんしては、日本のニュースと外国（とくにヨーロッパ）の違いは大きかった。日本の放送はなるべく信じたいけど、100%の真実は伝えていないと思う。でも、ぼくが住んでいる町の災害準備はすごくいいと思います。あと、災害後、日本人国民の冷静さと団結力はすばらしかったと思います！
- 突然、水や食料がスーパーからなくなったことは、とても怖く感じた。電車が動かない場合、家にも帰れない。また、情報が不足し、どこに逃げていいかもわからなかったから怖かった。インターネットや電話も繋がりにくく、とても困った。出身国のニュースは、日本のニュースと全然、内容が違っていった。

◆ 外国人に対する処遇

- 知り合いがあまりいない外国での災害はみんな落ち着かないと思います。避難所に相談相手がいるとよいと思います。
- 日本人と同じ援助を受けられるか、避難所で日本人と同じように避難できるかと心配したことがあります。
- 日本人の知り合いもいいのですが、やはり、同じ国の人が近くにいると、安心できます。万が一を思うと、できたら、市町村に外国人の集い場所を設けてほしいと思います。

◆ ボランティア

- 日本に住んでいる以上、日本人でも外国人でも違いなく災害を乗り越えるように少しでも力を出すべきだと思います。自分の身の回りの安全が確認できたら、人に迷惑をかけない前提でボランティアなどに参加したいです。
- 日本人や外国人が関係なく、皆一丸になって、助け合うことが一番重要だと思います。
- 外国人としてではなく人間として人を守りたい。

◆ 防災訓練

- 日本人は小さい時から防災訓練をしてきたので、災害時、冷静でいられました。私達はどうしても慌てて冷静になれませんでした。その上、正確な情報が入らないから、噂話を信じ込んで、国に帰るしかできません。外国人向き防災訓練があったらいいと思います。

◆ 自治体等の対応

- 国、市、国際交流会などから外国人の安全の配慮に対して関心がなかったと思います。各

市役所の外国人登録窓口で、外国語の情報や積極的な関心をもってほしいです。

◆ 食品の安全

- 食品に含まれている放射性物質の量をはっきり分かるようにしてほしいです。基準以下でも、数値をきちんと知りたいです。ただ安全だと言われるだけでは安全だとは思いません。

◆ その他

- 自分がここで死ぬかと思った。余震も来るし、本国には帰れないし、とても怖かった。毎日テレビを見ながらぼーっとして過ごした。食べ物、特に水が買えないので、我慢した。とても辛かった。
- 食料を奪うように買い求める日本人を見ると、もっと怖くなってしまおうし、外国人としての無力感を感じてしまう。
- 子供が2人で永住権を持つ友達が、外国人登録証を家に置いて出かけて、警察署で調べられて大変だった事を聞いて、そのようなことがある時はどうしたらいいか考えました。

V 調査票

- ここに掲載したものは、FAX・郵送での調査票である。レイアウトは実際の調査票と若干異なる。
- インターネットの調査は県の電子申請システムを利用した。

へいせい ねんど ねんど
平成23年度（2011年度）
がいこくじん も に た - あんけーと かいめ
外国人モニター アンケート（1回目）

なまえ 名前	
FAX	<p><small>がつ</small> <small>にち</small> <small>きんようび</small> <u>8月19日（金曜日）まで（しめきり）に FAX を おくってください</u></p> <p>048-824-0599</p> <p><small>さいたまけん</small> <small>こくさいか</small> <small>がいこくじん</small> <small>モニター</small> <small>たんとう</small> 埼玉県 国際課 外国人 モニター 担当</p>
ゆうびん 郵便	<p><small>がつ</small> <small>にち</small> <small>きんようび</small> <small>ほすと</small> <u>8月19日（金曜日）まで（しめきり）に ポストに 入れてください</u></p> <p>〒330-9301</p> <p><small>さいたまし</small> <small>うらわく</small> <small>たかさご</small> 3-15-1 さいたま市 浦和区 高砂</p> <p><small>さいたまけん</small> <small>こくさいか</small> <small>がいこくじん</small> <small>モニター</small> <small>たんとう</small> 埼玉県 国際課 外国人 モニター 担当</p>
	<p>* <small>しつもん</small> 質問は 15こ あります。</p> <p>* <small>ふと</small> <small>せん</small> 線の 口の <small>なか</small> 中に <input checked="" type="checkbox"/>（チェック）を <small>か</small> 書いて ください。</p> <p>* 「ほかの こと」は 【 】の <small>なか</small> 中に <small>か</small> 書いて ください。</p> <p>* Q6は <small>ふと</small> <small>せん</small> 線の 口の <small>なか</small> 中に <small>か</small> 書いて ください。</p>

1	Q	2011年3月11日の東日本大震災(おおきな地震)でなにが困りましたか？ <small>ねん がつ にち ひがしにほんだいしんさい</small> 1～8こ ✓ を書いてください。	
	A		日本語の情報がわからなかった <small>にほんご じょうほう</small>
			相談するところがわからなかった <small>そうだん</small>
			家族と連絡できなかった <small>かぞく れんらく</small>
			避難所(にげる ところ)がわからなかった <small>ひなんじょ</small>
			電車がとまって家に帰れなかった <small>でんしゃ いえ かえ</small>
			家や物がこわれた <small>いえ もの</small>
			停電(でんきが とまる) <small>ていでん</small>
	ほかのこと 【		
2	Q	災害(地震や台風など)のとき何が知りたいですか <small>さいがい じしん たいふう</small> 1～2こ ✓ を書いてください。	
	A		外国語で相談できる ところはどこにあるか <small>がいこくご そうだん</small>
			避難所(にげる ところ)はどこにあるか <small>ひなんじょ</small>
			どんな被害があるか <small>ひがい</small>
			電車や道路のこと <small>でんしゃ どうろ</small>
			電気や水のこと <small>でんき みず</small>
	ほかのこと 【		

3	Q	<small>ねん がつ にち ひがしにほんだいしんさい じょうほう なに し</small> 2011年3月11日の 東日本大震災の 情報は 何で 知りましたか？ 1～10に ✓ を <small>か</small> 書いてください。	
	A		<small>にほんご しんぶん ざっし</small> 日本語の テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
			<small>がいこくご しんぶん ざっし</small> 外国語の テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
			<small>にほんご</small> 日本語の インターネット
			<small>がいこくご</small> 外国語の インターネット
			<small>にほんご けん し まち むら</small> 日本語の 県・市・町・村の しらせ
			<small>がいこくご けん し まち むら</small> 外国語の 県・市・町・村の しらせ
			<small>しゅっしんこく じぶん くに</small> 出身国(自分の 国)の しりあい
			<small>ちか す ひと</small> 近くに 住んでいる 人
			<small>にほんごきょうしつ</small> NGO や 日本語教室
	ほかのこと【 】		
4	Q	<small>さいがい じょうほう し なに</small> 災害の 情報を 知るために 何が よい ですか？1～3に ✓ を <small>か</small> 書いてください。	
	A		<small>にほんご しんぶん ざっし</small> 日本語の テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
			<small>がいこくご しんぶん ざっし</small> 外国語の テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
			<small>にほんご</small> 日本語の インターネット
			<small>がいこくご</small> 外国語の インターネット
			<small>にほんご けん し まち むら</small> 日本語の 県・市・町・村の しらせ
			<small>がいこくご けん し まち むら</small> 外国語の 県・市・町・村の しらせ
			<small>がいこくご ぼうさいほうそう そと</small> 外国語の 防災放送(外の スピーカーで しらせる)
			<small>けいたいでんわ がいこくご じょうほう</small> 携帯電話に 外国語で 情報を おくる
			<small>つうやく</small> 通訳
	ほかの こと【 】		

5	Q	<small>さいがい じょうほう</small> 災害の 情報を あつめて <small>がいこくご</small> 外国語で つたえる センターが ほしい ですか？ 1に ✓ を <small>か</small> 書いて ください。	
	A	<input type="checkbox"/>	はい
		<input type="checkbox"/>	いいえ
6	Q	<small>ねん がつ にち ひがしにほんだいしんさい</small> 2011年3月11日の 東 日本大震災の あと <small>さいがい じゅんび</small> 災害の 準備を していますか？ 1に ✓ を <small>か</small> 書いて ください。	
	A	<input type="checkbox"/>	はい
		<input type="checkbox"/>	いいえ
7	Q	<small>さいがい じゅんび</small> 災害の 準備のために <small>なに</small> 何が ほしいですか？ 1～3に ✓を <small>か</small> 書いて ください。	
	A	<input type="checkbox"/>	<small>さいがい</small> 災害の ことが わかる <small>がいこくご</small> 外国語の パンフレット
		<input type="checkbox"/>	<small>さいがい</small> 災害の ときに <small>つか</small> 使う <small>にほんご</small> 日本語が わかる パンフレット
		<input type="checkbox"/>	<small>にほんご ぼうさいくんれん</small> 日本語の 防災訓練(にげること などを <small>れんしゅう</small> 練習 する)
		<input type="checkbox"/>	<small>がいこくご ぼうさいくんれん</small> 外国語の 防災訓練
		<input type="checkbox"/>	<small>にほんご さいがい</small> 日本語で 災害の ことを <small>べんきょう</small> 勉強する あつまり
		<input type="checkbox"/>	<small>がいこくご さいがい</small> 外国語で 災害の ことを <small>べんきょう</small> 勉強する あつまり
		<input type="checkbox"/>	<small>がいこくじん</small> 外国人を たすける ボランティア
<input type="checkbox"/>	ほかの こと 【 】		
8	Q	<small>さいがい ひなんじょ し</small> 災害の ときの 避難所を 知って いますか？ 1に ✓ を <small>か</small> 書いて ください。	
	A	<input type="checkbox"/>	はい
		<input type="checkbox"/>	いいえ

12	Q	<small>ねん がつ にち ひがしにほんだいしんさい</small> 2011年3月11日の 東日本大震災で ボランティアを しましたか？ 1に ✓ を <small>か</small> 書いてください。	
	A	<input type="checkbox"/>	はい
		<input type="checkbox"/>	いいえ
13	Q	<small>さいがい</small> これから 災害が ある とき ボランティアを したい ですか？ 1に ✓ を <small>か</small> 書いてください。	
	A	<input type="checkbox"/>	はい
		<input type="checkbox"/>	いいえ
14	Q	ボランティアを するために <small>なに</small> 何が ほしい ですか？1～3に ✓ を <small>か</small> 書いてください。	
	A	<input type="checkbox"/>	<small>がいこくじん</small> 外国人の ボランティアを <small>とうろく</small> 登録する ところ
		<input type="checkbox"/>	ボランティアの <small>じょうほう</small> 情報 (<small>にほんご</small> 日本語)
		<input type="checkbox"/>	ボランティアの <small>じょうほう</small> 情報 (<small>がいこくご</small> 外国語)
		<input type="checkbox"/>	<small>にほんご</small> 日本語で ボランティアの <small>そうだん</small> 相談が できる ところ
		<input type="checkbox"/>	<small>がいこくご</small> 外国語で ボランティアの <small>そうだん</small> 相談が できる ところ
		<input type="checkbox"/>	ボランティアの <small>べんきょう</small> 勉強を する あつまり(<small>にほんご</small> 日本語)
		<input type="checkbox"/>	ボランティアの <small>べんきょう</small> 勉強を する あつまり(<small>がいこくご</small> 外国語)
	<input type="checkbox"/>	ほかの こと【 <input type="text"/> 】	
15	Q	<small>さいがい</small> 災害の とき <small>がいこくじん</small> 外国人として <small>かんが</small> 考える こと や <small>おも</small> 思う こと を かいてください。	
	A	<input type="text"/>	

*** ありがとうございます ***

平成23年度 第1回 外国籍県民県政モニターアンケート
— 外国人の防災対策について — 報告書

平成23（2011）年9月発行

埼玉県 県民生活部 国際課

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

電話（代表）： 048-824-2111

（直通）： 048-830-2705

